(十一日夕刊)
磐城新聞
休刊 大祭日ノ翌日 第三日曜
定價 一部二錢 一ヶ月六十錢 郵税十五錢
廣告料 壹行六十錢 指定倍額
編輯發行兼印刷人 阪 添 (?)
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

鑛業界の尖端をゆく
諸發明品を出陳
東京で開催の展覽會に
各炭鑛の意氣込み

燃料協會主催の燃料展覽會は來月一日から十日まで東京丸之内府立商工奬勵館に於て開催をする筈で磐城入山、古河各炭鑛からは各自慢の石炭標本が出品されるが尚ほ磐城では[illegible]勝坑夫大智榮吉、渡邊米次郎君らが發明に係る鑛山協會より表彰された自動轉轍機機形(特許一願手續中)竪坑捲機竪坑防爆開閉器を出品すべく外國月二十五日から十一月八日まで同所に開かるゝ商務省商工協會商工省日本鑛山協會主催產業安全衛生展覽會へも鑛山退避坑防爆設備整理坑木盤車聯結用安全ピン總目なし鎖の製作順序に細立品、ポスターを出品すると

內鄉助役改選

內鄉村助役佐藤爲義氏は本月三十日で滿期になるので同村では來る二十五日ごろ助役推選の村會を召集することになつた野心家數名あるが大勢は現助役再選の模様である

四倉繭市況

四倉繭市場十日の相場は最高二圓十八錢最低一圓六十八錢平均一圓九十七錢總貫數四百五十七貫三五〇總計二萬七七一貫三五〇四萬一千三百六十六圓四八〇錢である

今月今日

△月照、西郷、薩摩等鹿兒島に逝る(安政五)△廣島縣下洪水溺死四十五名(大正一五)△平田篤胤歿す、加茂眞淵の門に本居宣長あり、宣長の門に平田篤胤あり共に德川時代に於ける國學界の傑なり(天保一四)△空也上人歿す、年七十、空也念佛の始祖で躬ら襤褸を以て世に浄法を布いた佛界の人傑である、此日東都兩國回向院で空也念佛供養を行つた(天祿二年)

ハムよりうまい
鹽豚販賣
田町 三二三屋

講談 赤鞘安兵衛

東京 桃川燕二演　村田月光畫

(四十八)

此方は佐々友一、異ッ先に下城してその足で前夜の酒屋に飛び付けた、中山はと聞くと九つ半を打つたら起して呉れ、時刻を過ごすと首を引抜くと云つて大鼾、寢込んでお出でになつたが、九つ過ぎにお目覺めで酒を一升飲んでお立出で、後刻又來るとの仰せ今にもお出でになるでせうと云ふ友一――「ハテナ今日重陽の嘉節と知つた安兵衛、何かやる積りらしかつたが、やるならやるで巧くやつてくれゝば好いがな」と店先に腰を下して茶を呑んで居ると、表の方をバラ〳〵常ならの顔に人が飛ぶ、幾たと思つて立出で……「オイ〳〵小間物屋」――「ヘエ是れは佐々木の旦那様」……「貴様背中に大きな荷を背負ひながら急ッ切つて飛んでくるとは何事だい」――「ヘエ〳〵手前は御家中へ商ひに出ました、大手御門の邊を通りますと大變なことが出來ました」――「何が出來た」……「大手御門際にれいて、先年武者修業に來た立ちなさつた中山安兵衛様と御家老上席の山上典膳様と果し合ひが始まり、双方から數十人刀をピカピカさせ大台戰でございます、今に御城下へ火の手が上り修羅巷と相成りませう、手前は早く家内を連れて立退くつもり」又聞さと見えて事が誇大されて來た――「何だ果し合ひ」と友一も仰天、其の儘茶屋へも寄らずバラ〳〵〳〵と取つて返す、何さま横丁〳〵には足輕逆がまご〳〵してゐる様子愈是れは大變と一散走り大手筋をドン〳〵飛んでくる、遥か彼方をのつそり〳〵くのは正しく中山安兵衛の姿に相違ないから、バラ〳〵と飛び付けた……「オッ中山」……「あゝ佐々木か、何んでそんなに息せ切つて來たのだ」――「貴公は大手前にて川上典膳と果し合ひをしたではないか!!」……「ナニ果し合ひではない、彼れを懲らしてやつばかり」……「懲らしたとは」――「一寸右の腕をボキリやつた」……「折つたのか……」「然うだ」……「然うにもないものだ。折つたな折つたで好い。何故愚図〳〵して居る、早く逃げろ……」――「ナニ」……「拙者貴公が、何かやるだらうと思ひ。心配になつたから只今夜前の茶屋へ飛付けた、大手で果し合ひがあると聞ねて立戻つたのだが、横丁〳〵には六尺棒を携へ捕方が多人數詰めてゐる分奉行の手で張り込ませたのだらうが、此の分では田口出口の固めを付けたのだらう夫れに斯んな處に居るやつがあるか、何故早く逃げんのだ」……「能く逃げろ〳〵と云ふじやアないか安兵衛は武士だ、武士が敵におげまきをすると云ふ此の上もない恥辱だ。敵に見て逃げるやうな安兵衛ぢやないか、只今も横丁の居酒屋の前で五七人の足輕に逢つた、彼等は拙者の顔を見てワアーッと云つて立去つたわ、足輕などは逃げて失れ迄だが、安兵衛と足輕と一緒に取扱ふは心得ぬ」………「其んな理屈を云つてる場合じやない、貴公が如何に腕前が上達したからとて、多勢に無勢と云ふことを考へなければ不覺のもとだ。御家中一同が集まつてくれば如何なる過ちをせんとも限らぬ、早く逃げろ」………「まだ逃げろと云つてゐる。逃げろと云ばれは安兵衛少しも動かぬ」「困るなア、逃げろで惡ければ立退け」……「立退くも逃げると同じだ、拙者が居つて失れ程困るなら、何故引き上げろと云はん」……「ウム、引き上げろか、然うだ引き上げてくれ貴公に何かあつては拙者が困る。定めしお和喜もハラ〳〵して居る事だらう」……「然う云ふなら引上げるには引上げる」……「サア早くやつてくれ」……「然ら急とんでもよい……今其の仕度中だ……」。

拈華微笑

◇二百二十日が安泰な代りに例の不景氣風は八鶯か自然が疾風突風颱風で依然大荒れ◇各炭礦が自慢の石炭標本を出品こゝらで一當洛陽の炭價を上げてほしい◇夏井の高燈籠、靜かに闇を己、無數のエメラルドは蓋し天下の美觀だ、わすれ鎌田の燈籠流し◇好間、復活の曙光　平町なるもの隣の倅に嫁が來る程度に喜ぶ値うちはある◇閑、たに胸がすく様な受持警官の[illegible]◇永戸の山中に生れた猿智慧の男、良く、廣げたり大風呂敷

映畫欄

寄せ鍋のへんつく

旗本 「寛永鮭騒動」に着手

ころ「捧浪人」を完成、帝キネ富澤進太郎監督は來年の品として上月東原[illegible]御挑「寛永鮭騒動」を古北潟のカメラで製作する事となり撮影開始した、利かね旗本十郎左衛門と絡みつく男の源太左衛門が鮭一匹の騒動で天下にセンセイションを捲起すと言ふユーモラスな時代喜劇である。配役は左の如く怪優闇盤座が「荒木又右エ門浪花日記」に間續いての熱演を見せる筈十郎左工門(闇盤座)源太左工門(綾光道)源作(櫻井勇)十郎左工門娘(亞東勝代)唐犬權兵衛(片岡童十郎)金時金兵衛(嵐寛十郎)大久保彦左工門(寶川延笑)十郎左工門若黨(嵐璃巡兒)

秋季映畫陣營頭の巨頭 「淺草紅團」愈々上映

撮影開始すべや果然の[illegible]缺なセンセイションを捲き起しつゝあつた帝キネ現代劇部の巨篇、川端康成原作東劇評數「淺草紅團」は同社の前衛的監督高見貞衛が本年度に於けるヒツトとして徳川良子、若葉馨の好スタートと共に百パーセントの期待を狙びつゝ愈々來る五日大阪芦邊劇場、東京常盤座、京都夷谷座、東西相呼應して一齊封切される事となつた、尚ほ之れと同時に拜本七之助監督と松本田三郎の新らしきコンビに成る「明治怪刀傳」も上映される筈である。

水戸黄門をモダン化する

帝キネの「黄門遍歴奇譚」嵩々喜多呂九平か監督としてデビユースル帝キネでの第一回作品「黄門遍歴奇譚」は松本泰輔といふ無二の適役を得て果然期待を煽ふるに至つた嵩々喜多監督は原作脚色共自ら筆を取つたものだけに絶對の自信を持ちその監督手法に於いて明らか劃明的な新生面を見せるばく意氣込み、黄門の解釋についても斷然新機軸を見せて、名君水府公を孤獨の颯爽な人間として描く政治家としての一面は全然近代的な解釋により現代の人々が渇望して止まぬ理想的な政治家を表現することゝなつた。このモダン黄門の鋭い眼に映じる當時の社會相がどんな風に批判されどんな示唆を現れ人に考へるか上映の曉は大センセイションを起こすだらう

志波監督全快

「旋風時代」整理進行

帝キネ志波監督は其後益々經過良好元氣も全く恢復したので直ちに「旋風時代」の殘部撮影を終行ると共の整理に着手近く完成の見込である。

「野獸群」愈々完成

熱のある中野、高津のラブシーン

十五日辨大座開館封切へ控ね帝キネ現代劇部のオールスター「野獸群」は愈々ラストシーンの撮影に移り、セット内に地下六尺か幅十尺の地下水道を掘り下げ嵐の無街氣分を横溢させてゐる高津慶子と中野英治のラブシーンは悉しく調子よく木村監督始め一寸呆氣にとられた形だが中野も高津も相手が「相手が何となく好きなので」告白してゐるから木村監督も喜んだり心配したり大變である。

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入自然
稽古では御座いませんから趣味で御相手致し度うございます
平町仲町三(電話六二五番)
華道教授
天水庵 岡田華悅

動脈硬化症豫防新藥
アイヨー錠
藥價二圓、六圓、貳拾圓
代理店 山野邊藥局

宮內省御用達
ヒゲタ醬油
釀造元 銚子醬油株式會社
平町田町
特約店 廣瀬支店
電話五四番

專賣特許
實用萬年漆器
好評噴々!!眞に是こそ萬代食器!
▼ハゲヌ漆器・コワレヌ陶器▲
◎見よ!!!偉大なる化學の力!
◎本品の特徴
絕對……ハゲマセン
絕對……變色イタシマセン
絕對……變形イタシマセン
絕對……熱湯ニオカサレマセン
絕對……酸類ニオカサレマセン
加之容易ニ破損イタシマセン
◇一度購ヘバ一代道具
品位ハ最上漆器ニ異ナラズ
日本化學漆器株式會社
東亞化學工業株式會社
製品セプトン一名萬年漆器

釜屋商店器物部
福島縣平町

診療 夜間
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 [illegible]病 皮膚病 專門 外科部
[illegible]醫院
(平南町電話一〇七番)

貸切は他の追從を許さゞる破格最低料金の磐城タクシーへ
平驛前
磐城タクシー
電話四五四番

新築落成
耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 (專門)
平町南町(舊診療所向)電一七〇番
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

清楚なサロン
明るいサロン
洋酒はサロン
田町通り
清楚な食堂 サロン 電三五二
食事はサロン
奉仕はサロン
僕等のサロン
サロンの公休日は毎月第三火曜日に變更いたしました

入院隨意(自炊の便あり)
X光線 外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九
病室完備

夏井の流れ静かに辷る 大小無數の燈籠
新凉を滿喫する群衆で 賑ふ明夜の鎌田橋畔

盆上りの最も凉快な催しとして今や老幼より喜び迎へらるゝ年中行事となつてゐる平町鎌田青年團主催の六流燈會は愈明十二日の舊二十日午後六時から夏井川下流されるがこの施餓鬼は既報の盂蘭盆會に就てにあつた如くその昔阿難尊者に依つて起されたもので

佛說救拔焰口餓鬼陀羅尼經に述べる處に依ると阿難尊者が或る時獨りで靜かに坐禪してゐると十二時頃焰口と云ふ恐ろしい形態をした餓鬼が顯現して阿難に向つて尊者のお壽命は最早三年しかない死すれば必ず私共と同樣に餓鬼の中に生れる相がありますと言はれ尊者は大いに驚いて尋ねるとそれは無數の餓鬼衆並に三寶に多くの飲食を供養されたらその功德力に依つて壽命も延びる事が出來ゝ餓鬼の苦を離れ天界に生れる事が出來ると云ふので早速釋尊の住所に至り飲食施與の法を聞くと佛は合點して此方に經の眞言即ち無量威德自在光明加持飲食陀羅尼を之であるこれを誦すると時は眞に一食變じて無數となり從つて無量の餓鬼衆も一時に飽滿すると言ひ阿難尊者は此の法を授かつて危き壽命を喰ひ止められ且餓鬼衆を助けられたのみか今日まで其の恩光を遺されたので今日では各寺院に於てこの施餓鬼法を合せて盆祭に修法する樣になり佛前へ三寶へ飲食物を山と積み釋尊の阿難尊者に授かつた法經が嚴かで此の會が施行される

富夜の燈籠は實に五千餘と云はれ今年はそれに平町各商店の宣傳的大化粧燈籠もそれぞれ計畫されて大小五色の燈籠は鎌田橋より二丁の上流から廿餘艘の河舟に依つて流しそれぞれが下流平窪くらいに及び極く小さくなる迄天空に瞬く星の樣に色彩を取交る美觀は殆ど言語に絶するものがあるばかりか餘興として夏井川岸及び屋根船より數發の仕掛煙火の打上げる計畫となつて居る遊廓では町の若衆の盆踊りを始める事になるから益々人出は恐らく數萬に達するだらうと豫想され橋上邊は每年大雜雜を呈し自動車、荷馬車等の通行は不可能となるが例なので平署では多數警官を派し嚴重取締をする由

草野施餓鬼 流燈會その他

草野村深箭青年團主催の施河施餓鬼は同村寺院及平町善華會有志後援の下に鎌田青年團主催のそれと同時に明十二日午後七時より同村寺院一同平町寺院十數名で施餓鬼式を行ひ數百燈の流燈二十數艘の遊覧船數十發の煙火等ある外盆踊り念佛などの催しあり大賑ひを豫想されてゐるが流燈及遊覧の區間は鎌田より夏井川仁井田川の新舞子で尚ほ當夜舞子の供養塔除幕式を行ふ筈で一さしほの人出を豫想されてゐる

漸次炭礦地として 復活の曙光見ゆ
古河の事業伸展で 元氣出た好間村民

先年炭礦の黃金時代に俯和い夢を續けてゐた好間村も先年古河竪坑の水沒以來は忽然として殆ど廢墟の樣にもとの農村に還元して了ひたゞ僅かに將來に於ける新斜坑の着炭探鑿を樂しんでゐた折柄昨秋起工の斜坑も亦出水の爲め兩派事業のしん捗を阻まれてゐたが之の程に至りセメントの充塡が完成し而も今後は從來の從業者に對して十萬圓を增加し事業力その伸展を急いでゐる一方小田氏の個人經營に係る元山も最近四百五十立方の排水が完成し兩々相俟つて好間復活の曙光が現れはじめたので村民一同大いに元氣づいて來た樣である

念佛團賑ふ
會場混雜で中止

福島毎日新聞社石城ジャンガラ念佛普及會主催の石城ジャンガラ念佛は十日午後七時から平商校を起點で町催ゐ州組三十三組約八百七十余名で盛大に舉行されたが時午後十五組終了した時分は見物人山をなし會場混雜中止のやむなきに至つたが追つて第二回の演舞會を催す由

測候所の豫想通り 申分ない秋晴れ
萬頃の稻田は六分開花 厄日二百廿日過ぐ

けふ十一日は第二の厄日といはれる二百二十日であつたが連日來の天氣はめつぽりよく、昨今の朝晩はぐんと秋冷を感じさせたが昨十日は氣溫も元に返つて日中は殘暑でヂリ〳〵照つけた。しかし一歩郊外へ足をうつすとさはやかに大氣は澄み六分通り開花を終へてみのりを急ぐ稻穗は首をたれ初めた、氣壓狀態を見ると小笠原の東南で樣子を伺つてゐる颱風にやゝもするも日本を襲はうとするやうだつたが、全日本を被つた高氣壓はがんとして動かず颱風を近づかしめなかつたので、七四〇ミリのかなり强い颱風も腰を折りて千島へ出た、これがため高氣壓は依然獨り舞臺で中部日本にでがんとすわり込み、これが最後を殘暑を送つてゐる。風もなく雲もなく秋晴れ、今日もまするも、そして明後日もよいお天氣だらうと小名濱測候所でのご宣託。

四倉署事件數

四倉署管內に於ける八月中事件數は傷害罪發生一、檢舉一、窃盜發生二、檢舉二三、詐欺、檢舉一三、橫領、檢舉三、其他發生二、檢舉二合計發生四件、檢舉二十三件で昨年八月の檢舉一七件發生一八件に比し發生件數に於て一四件少く檢舉に於て十五件多く成績良好である

拂ひが多い 四倉局の貯金

四倉町郵便局八月の貯金高は一萬九千七百五十二圓七十錢七百六十口、拂出し二萬七千三百四圓四十七錢六百四十五口、新加入者口は二十七口であると

水道課陣容成る
夫々係員を任命 十五日起工式

平町水道課長は豫てから種々物色中のところいよ〳〵上水道擴張工事實施も近日に迫つたので町當局にたいは九日町會各派の代表を招集諒解を求め前水道課長山下勝慶氏に決定したこと既報の如く同日午後三時同氏の正式任命辭令を發したがこれと同時に間瀬の技師柴山斎治氏は水道擴張部擔任技師となつた尚擴張工事當り名手二名、工手二名專任書記一名、書記補二名を採用一兩日中に任命する樣である尚ほ擴張工事は目下當局において種々準備をなし繁雜を極めつゝあり起工式は十五日午前十時好間村の水道取入口に舉行する事に決定し直ちに工事に着手する筈である

石城稻作況 五分の增收か

石城地方の水稻作柄は稻熱病や螟虫、螟蛉等の害虫發生したが一般に良好で五分內外の增收を豫想されてゐる殊に小名濱地方の水田二百丁步は年々旱害を免れぬところ本年は申し分ない天候順調で成績よく收穫高は十八九萬石に達するであらうと

大風呂敷を擴げて 正直な地主を騙す
嘘万八の早大卒業生 永戸の市信檢舉さる

當時住所不定無職永戸村大字下永井字峯岸三三生れ兵之助長男阿部市信(二六)は本月十八日北海道石狩國雨龍郡深川町坂一己村二〇鈴木義太方に至り自分は根室笠山驛前館內旅館に止宿しゐるが早稻田大學を卒業し目下東京某通信社で月俸一百五十圓を得生活費其他は本籍親父に依り支給されて何不自由なき身分ではあるが先月茨城縣で土地を買ひたから鈴木の深川町會土地水田百七十町步を買つてくれとたくみに鈴木から百八十圓を詐取し素知らぬ顔で浪江町の情婦大江サダ方に立廻つた處を平署員に逮捕されたが北海道で三四件本郡下でも同樣手段の詐欺をやつてるものとにらみ目下嚴重取調中。

磐礦好間 巡査減員
好間から三名

石城の各炭礦における請願巡査は十四名に達してゐるが磐城炭礦好間礦三井炭礦の休山、好間村小田炭礦事業縮少等によつて二名の請願巡査を廢止したが更に十月から內郷村白水の請願巡査駐在所も廢止する事となり結局平署管內で三名の請願巡査を減員する事となつた

どん底の貧家に 受持警官の惠み
白銀區民が慈父と仰ぐ 今野巡査の隱德

平町白銀町一四居住菓子職小野寺秀吉郞(四九)は九人の子を有し昨今の時節柄、でだに家計が裕かでなかつた處へ先ごろから病氣が嵩つて妻子を率ゆる事が然も出來なくなつた爲妻女は人道で金つば燒きをし辛じて一家を支へて來た處最近夫の病勢が募つてからは夫の護看で唯一の生活資本であた金つば燒きも出來なくなり昨今では普通まゝ事に與する十三歲の娘が大工町邊で金つば燒きをし乍ら細い煙りを立てゝゐるので一家の窮乏を見た受持の今野巡査はいたく之れに同情し娘に金二圓を惠みその後も時折見舞つて何くれとなく力をつけてゐるうち秀吉郞は今野巡査の親切を感謝しつゝ去る七日遂に死亡したが同巡査の善行は之れのみに止まらず子女三四人を有し二年來病床に臥し去る一日之亦死亡した同當地居住の飲食店杉山權兵衞(五〇)の葬儀に際しても懇ろなる悔みをしたなど附近では同巡査のかくれたる篤行を語り合つてゐる

役人の乘車を種に 瞞着の魂膽暴露
菓子種師と衝突運轉手 官名詐稱で告發乎

平町菓子商光崎清春(三一)は去る七日午後四時頃自轉車に乘つて同町字六丁目地內を通行中背後から一臺の乘合自動車が超スピードで走し來つた爲め自動車をさけんとして遂に間に合はずの儘に自轉車を乘りすてゝ身だけのがれたが自轉車は轢き倒され滅茶苦茶に粉碎され大破した旨報の通りであるが當時清春は憤慨し自動車の後を追ひ停車せしめ辨償をせまつた處運轉手は乘客四五名あるを奇貨として「四倉署の刑事が乘つてゐるので非常に急いでゐるから停車してゐるわけには行かない話は後でわかる」と云ひ放つて逃走したが屆出により所轄平署で犯人搜查中の處十日朝に至り石城郡四倉町字仲町鈴木運轉手鈴木向千(三三)と判明目下取調べ中であるが官名詐稱並に自動車取締法違反として告發さるゝ模樣である

四倉町工事 十五日入札

四倉町役場に於ては五日午前九時より十一時まで左記二ヶ所の土木工事競爭入札を行ふと

一、字町頭東通りコンクリート暗橋二、本町東通りコンクリート暗橋一ヶ所三、本町東通り[illegible]工事

怒つた太鼓叩き 見物の顔を毆る
被害者のアイス屋 平署へ斷然告訴

平町長橋町鮮魚商病狩勝誠(二〇)は舊盆十六日夜十時頃平町紺屋町角に立てられた櫓の上で太鼓をたゝいてゐたところ、踊子の中から「下手クソ野郎」と野次られたのを憤慨しやぐらから飛び下り踊り狂つてゐた同町才槌小路アイスクリーム行商大內兩次(四二)の顔部をまかせに太鼓撥で毆打、全治二週間を要する傷害を與へ九日被害者から告訴された

病窓苦吟　山田桐處

桐一葉たちて大きく目に映り
蟬の音も遠のいてけり桐一葉
夕かほに蟋蟀の來て我を慰む

明日の吉凶

七月 舊暦二日　九月 新暦二十日

▲一白の人 妄擧を戒め努力を惜まざれば大吉日と成る▲二黑の人 何事にも手堅く一歩一歩と進むが安全の日▲三碧の人 投機心を起さず空想に耽らず常業大切の日▲四綠の人 依賴心を去り己が力を以て焦らずすゝむが吉▲五黃の人 無理の競爭は失敗を招く基自重邁進すべし▲六白の人 表に現はざる苦勞の潜む日 佛詣でが吉▲七赤の人 一波去れば一波又追ひ來る 焦るは破れの基▲八白の人 目上と隔意を生じ易き日 家內平和が第一なり▲九紫の人 八方よりの引立てあり朋輩の助けもある幸運日

投槍
（投稿歡迎）

麻雀撲滅論

現時の社會相は食ふや食はずの土壇場に追詰められ絶望と悲憤の異常の氣流が御されて、兎もすれば激化せん氣配を示してゐる。農民、小中商工業者の悲境は其の極に達してゐる、然る時勢に、放送局當事者は過般麻雀と人生になる題下に閑人のヘボ文士に亡國的遊戯の宣傳をさせた、我等は尖端的と言ふ語と共にこの麻雀なる亡國民族の遊戯が社會に擴まりつゝあるやうだが、この害たるや共産主義よりもチブス、ペストコレラ菌よりも恐ろしく感じられてならない。

△

最初警視廳に於てこれが倶樂部などを許可したのが抑も間違ひである。一ゲームを熟練した者でも二時間以上を要するこの亡國戯を、然もメクリ、同樣なものを何故に公然街道に許したかメクリは下層階級にまで及ぶ遊ぎゞあり、麻雀は文藝春秋社の連中の樣な比較的上流階級より宣傳されまた高價なるが故に一般に及ぼす罪戯でないと思つてそれに犯罪事實がメクリのそれの如く比較的(實際はそうでもなさそうだが)小い事によつて許可されたか吾々は了解に苦しむものであ賭博犯はあながち金錢をかける事のみに意を用ひたものとは思はれない。要するに僥倖心よりして遊惰心を國民に生せしめる事を防がんが爲めの法律と考へられる、然らば麻雀の如き働く者の能率に頗も惡影響を及ぼす惡ぎを取締る事は當局の責任であると思ふ。現在麻雀を弄ぶ者が俸給生活者に多いのは事實であり農民も商工業者も深刻なる不景氣に直面して四苦八苦の折柄一般國家的不景氣に超然として好況時の俸給をむさぼりつゝある者が麻雀などゝ云ふ亡國民族の弄ぶ麻雀に浮身をやつし明日の勤めは居眠りだらけ、これで思想善導も教化總動員もあつたものではない、よくもためためとそうした事が言へたものである RL局

（一見解として登載せるのみ强ち論の全部を肯定せるものに非ざるを附記す）

電話番號變更廣告

今日から電話番號左の如く變更致しました。

四八八番 平町二丁目 遠藤帽子店

七九番 平町材木町 大鶴屋商店

四七八番 平町六丁目 矢吹石炭店

一九五番 平町五丁目 金光堂時計店

五九一番 平町大工町 多田井笑次郎

五三五番 平町才槌小路 ライト寫眞館

五八八番 常磐線平町五丁目 青物甘藷問屋 高木屋支店

一八八番 大床號 石崎幸一

一八六番 平町田町 日進堂支店

二八五番 平窪村 銘酒白馬ノ雪釀造元 松本德一

吉田眼科病院 平町紺屋町